

令和4年度生活排水対策クリーンキャンペーン報告書【アンケート結果】

生活排水対策クリーンキャンペーン「三河湾のパネル展」を実施し、アンケート調査にご協力いただきました。

キャンペーンでは、生活排水対策及び三河湾浄化に関する啓発パネルを展示するとともに、啓発グッズ（冷凍保存パック、2色ネットクリーナー、生活排水対策に関するパンフレット、紙ファイル等）の配布を行いました。

【キャンペーンの概要】

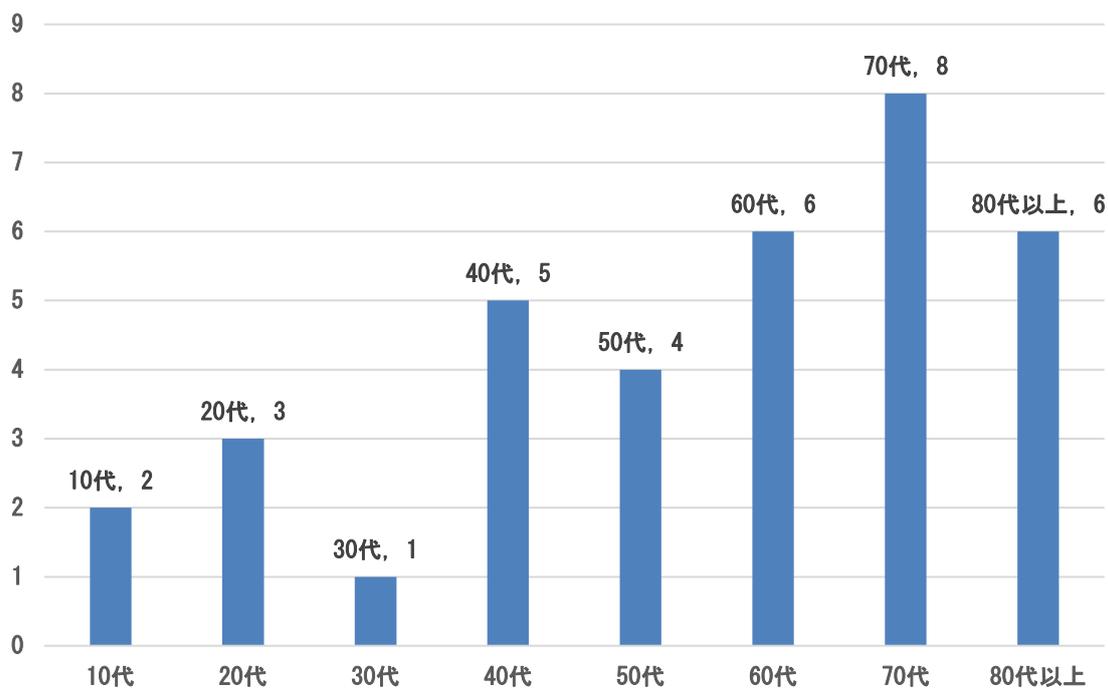
- 1 実施日
令和4年7月29日（金）午前9時～12時
- 2 実施場所
東浦町役場 本庁舎1階ロビー
- 3 回答者数
35名
- 4 アンケート内容
 - （1）年齢（年代）について
 - （2）お住いの地区について
 - （3）お住いの住宅の種類について
 - （4）ご自宅の生活排水の処理方法について
 - （5）使用後の食用油（サラダ油、天ぷら油等）の処理方法について
 - （6）生活排水対策の意識について
 - （7）ご自身が実施している水環境を守る行動（生活排水対策等）について
- 5 アンケートの実施方法
紙媒体及びインターネット（あいち電子申請システム）
※インターネットでの受付は、令和4年7月25日（月）から8月2日（火）まで

生活排水対策クリーンキャンペーン（パネル展）の様子



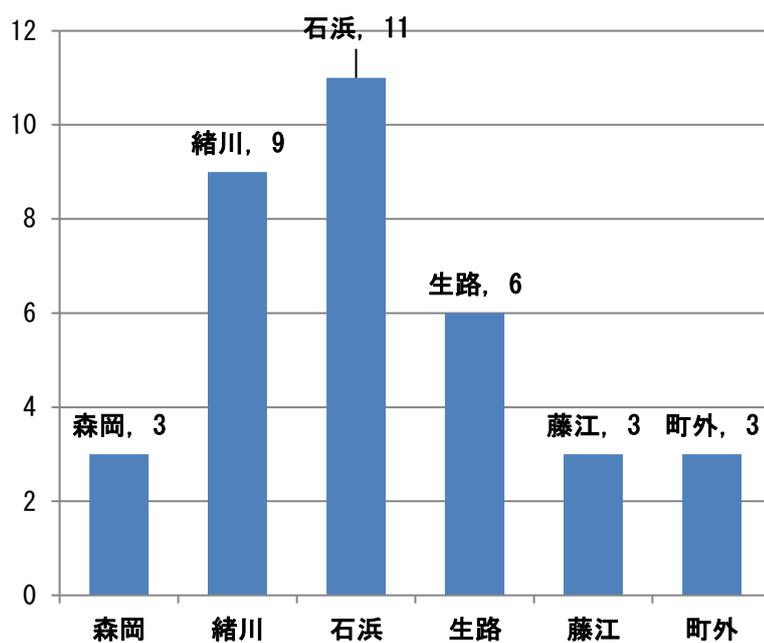
アンケート結果は、以下のとおりです。

Q1 年齢を選択してください。

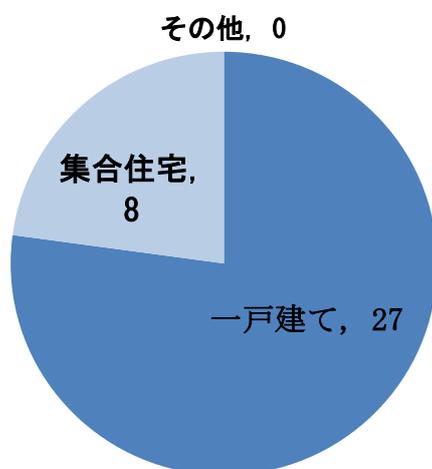


幅広い年代の方にアンケートにご協力いただきました。

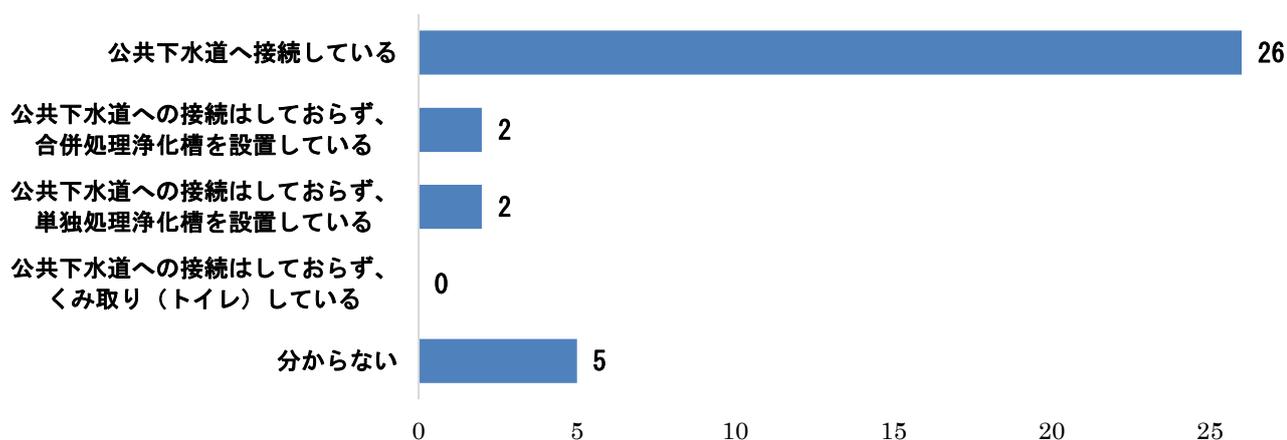
Q2 お住いの地区を選択してください。



Q3 お住いの住宅について、該当するものを選択してください。



Q4 ご自宅の生活排水の処理方法について、該当するものを選択してください。

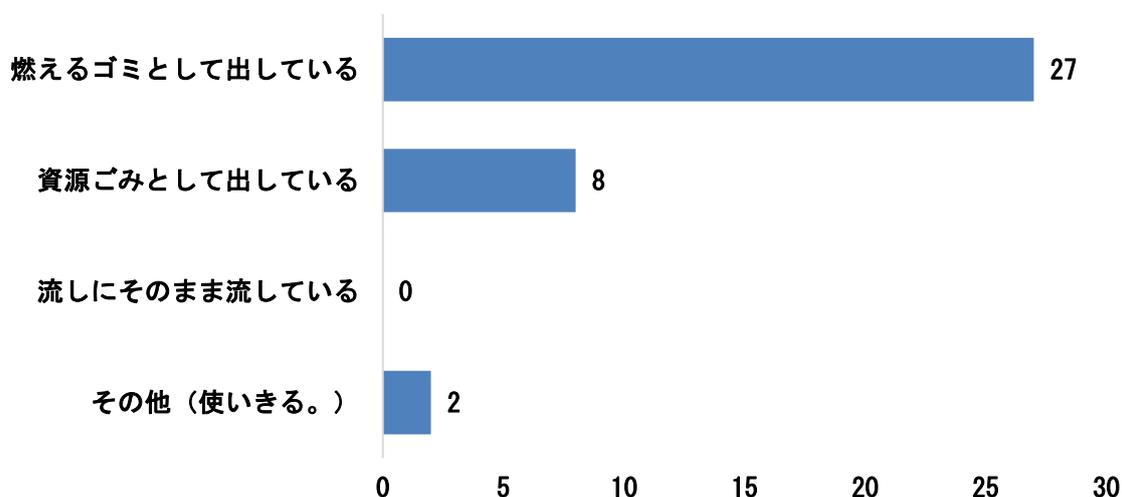


約9割の方が公共下水道へ接続していましたが、約1割の方は公共下水道へ未接続で浄化槽を設置しているという結果になりました。

浄化槽は維持管理を怠ると水をきれいに処理する機能が低下してしまい、川や海を汚す原因となってしまいます。また、単独浄化槽については、し尿(トイレの水)のみを処理し、生活排水はそのまま河川等に流れ水質悪化の原因となることから、合併処理浄化槽や公共下水道への転換が必要となっています。

東浦町では、単独処理浄化槽またはくみ取り便槽を使用している方が、合併処理浄化槽へ付け替えする場合に補助金を交付しておりますので、転換を検討されている方はご活用ください。

Q5 使用後の食用油（サラダ油、天ぷら油等）をどのように処理していますか。
(複数選択可)

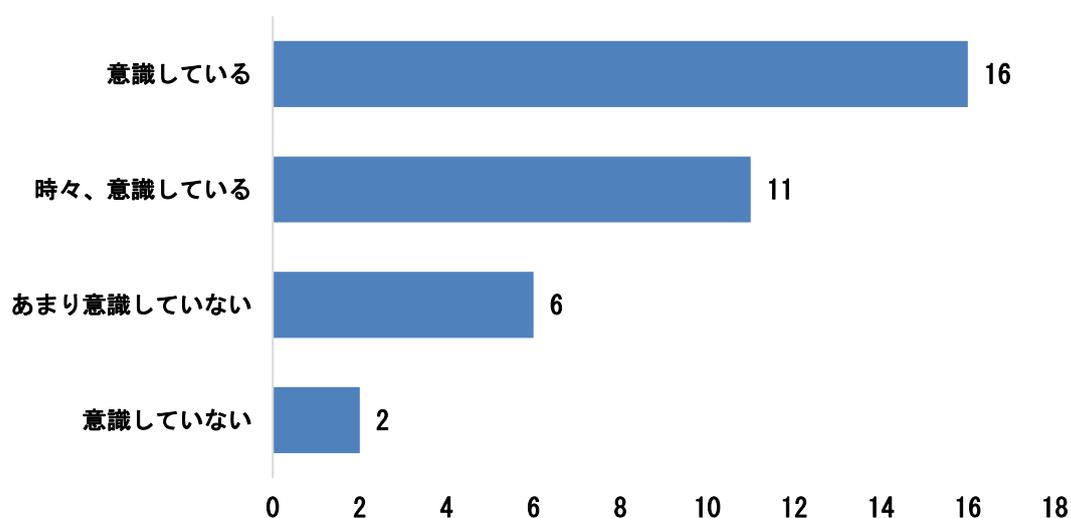


多くの方が使用後の食用油を燃えるゴミとして処理していました。

東浦町では、平成29年4月から新たな資源ごみとして、コミュニティセンター（藤江を除く）や集会所（東浦県営住宅・石浜中）、ふれあいセンター、藤江公民館、役場で使用済みの廃食用油の回収を行っていますので、ご協力をお願いいたします。

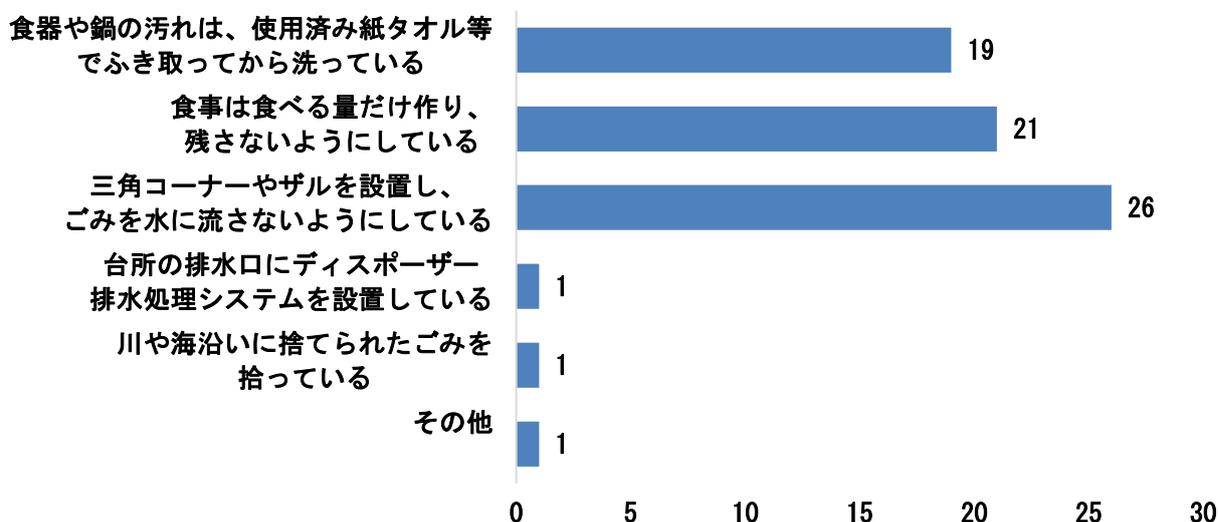
回収した使用済みの廃食用油は、ペンのインクや接着剤などに再生利用されません。

Q6 普段の生活で、生活排水対策を意識していますか。



多くの方が普段の生活の中で生活排水対策を意識していることが分かりました。

Q7 ご自身が実施している水環境を守る行動（生活排水対策等）があれば
選択してください。（複数選択可）



食べ残し等のごみを水にそのまま流すと、川や海の水質悪化だけでなく、下水道の詰まりや浄化槽の機能の低下に繋がります。

食事は残さないようにし、食べカス等を捨てる時は燃えるごみとして処分しましょう。

「その他」の水環境を守る行動として、「お風呂の残り湯を再利用」している方が1名おり、工夫して生活していることが分かりました。

東浦町を流れる川の多くは三河湾に流れ込みますが、三河湾の水質悪化の主な原因は生活排水です。

水環境をより良くしていくため、私たち一人ひとりが生活排水対策を心がけて生活していきましょう。

アンケートに回答してくださった皆様、ご協力ありがとうございました。